

自然豊かな未来へ、  
いまできることを。

対応するSDGs目標



「環境保全」は、当行の営業基盤である北海道はもちろん、世界全体の発展にはなくてはならないもの。私たちはこの取り組みを、「当行自身の環境負荷低減への取り組み」と「ビジネスを通じた取り組み」の分野で推進しています。

生物多様性保全活動 ほっく基金

ほっく基金

北海道の生物多様性保全に取り組む人々や団体を応援する「ほっく基金」(2010年設立)を2017年11月に公募制とし、道内の希少種保護や生息環境の整備等に取り組む様々な団体を幅広く支援する助成制度としました。基金の助成先選定、支援方法については、官民連携である「ほっく基金選定協議会\*」を設置し、妥当性・公平性・透明性の確保に努めています。

\*ほっく基金選定協議会…北海道・北海道環境財団・日本動物園水族館協会・当行にて構成



2019年度助成先

ほっくコース (助成上限金額100万円)

- 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク
- CISEネットワーク
- 一般社団法人エゾシカ協会
- NPO法人西興部村獺区管理協会
- 釧路自然保護協会
- ヒグマの会
- 黒松内ブナ林再生プロジェクト
- 深川ひきがえるバスターズ

トムコース (助成金額10万円固定)

- 旭山公園キッズ
- 旭山自然調査隊
- 雨竜沼湿原を愛する会
- 江別ホテルの会
- 遠軽町ウチダザリガニ防除ボランティアグループ ジオ・ザリ・クラブ
- 環境市民団体エコ・ネットワーク
- NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト
- To-pet(トペ)自然の会
- 盤渓癒しの里山づくりプロジェクト委員会
- フットパス・ネットワーク北海道
- Friends of Shari River 斜里川を考える会
- NPO法人北海道森林ボランティア協会
- 北海道大学総合博物館 昆虫ボランティア水生昆虫グループ
- 北海道函館水産高等学校
- 北方環境研究所
- NPO法人丸瀬布昆虫同好会

設立以来、延べ87先 6,000万円を助成しました。



NPO法人西興部村獺区管理協会



黒松内ブナ林再生プロジェクト



CISEネットワーク

特集

お客さまとの  
共通価値の創造

環境保全

医療福祉

教育文化

ダイバーシティ

経営について

## ほっく定期預金

「ほっく一基金」の主な原資として「ほっく一定期預金」を全店でお取り扱いしています。お客さまにお預け入れいただいた「ほっく一定期預金」の残高の0.01%相当額と、満期案内不発行による郵送料相当額を、当行が基金に拠出します。これにより、お客さまは間接的に「ほっく一基金」へ参加し、北海道の生物多様性保全に貢献いただくことができます。通帳は「環境配慮型通帳」を採用しており、通帳の素材には地球環境に配慮した紙クロスと植物由来成分のインキを使用してリサイクル適性を向上させたほか、塩化ビニールを用いない磁気テープの採用で廃棄適性も向上させています。

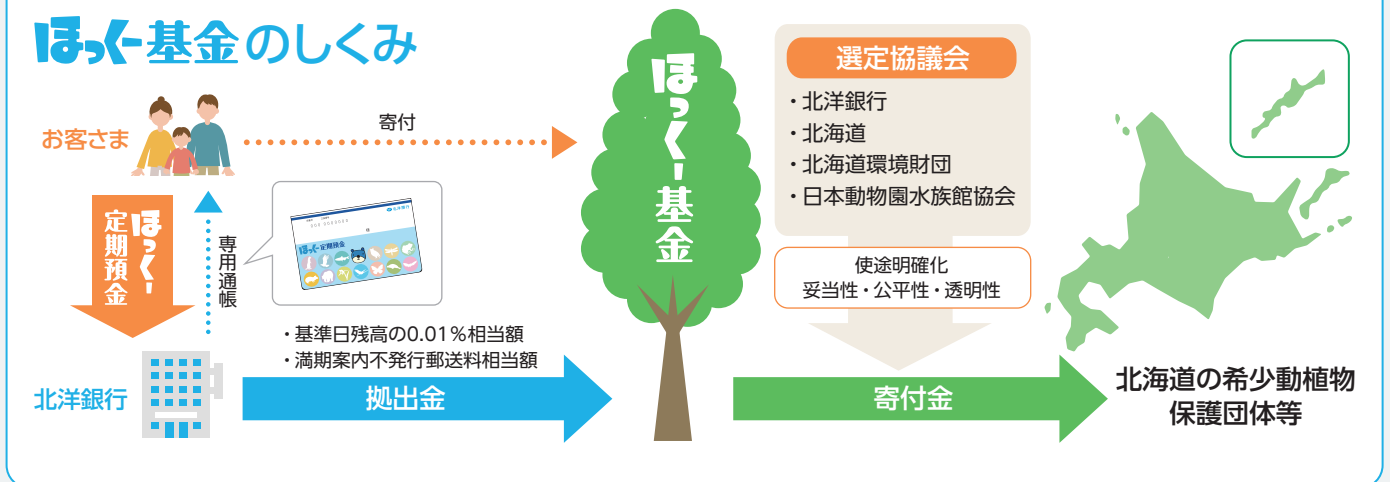


## ほっく基金口座の設置

### 募金専用口座

北海道の生物多様性保全に、当行の職員はもとよりお客さまにも広くご参加いただき、道民一丸となって取り組めるよう、「ほっく一基金」の専用寄付口座を設けています。各営業店の窓口にてお振込手数料を無料で受付しており、個人から法人のお客さままで広く皆さまのご協力を募っています。

## ほっく基金のしくみ



## ほっく一基金自然環境フォーラム

北海道における生物多様性保全の重要性を広く道民の皆さまに伝えることを目的に、「ほっく一基金自然環境フォーラム」を2019年6月に開催しました。2019年度「ほっく一基金」助成先のうち、「ほっく一コース（助成上限金額100万円）」採択団体への助成金贈呈式と、札幌市円山動物園の加藤修園長による特別講演を実施しました。当日は多くのお客さまがご来場され、北海道の自然の素晴らしさと生物多様性保全の重要性を実感していただけたフォーラムとなりました。



助成金贈呈式



札幌市円山動物園加藤修園長による特別講演

ほくくー基金

応援1

ラムサール条約登録湿地の釧路湿原を守る！

## 釧路自然保護協会

釧路自然保護協会は、1971年に北海道自然保護協会釧路支部として発足し、1975年に釧路自然保護協会として発展独立しました。釧路湿原の保全活動やそこに生息する動植物の調査研究などを行っているほか、2003年からはイトウ保護連絡協議会に加盟し、釧路川水系のイトウ保護にも取り組んでいます。

釧路地方の動植物や自然保護活動を積極的に実施



釧路湿原上流の魚道設置河川に遡上したイトウのペア。釧路湿原のイトウ復活に向けて、着実に歩みを進めています。



イトウ親魚が産卵遡上しやすくするため、木材を使って手作り魚道を設置しました(2018年)。

スタッフからの一言

釧路自然保護協会 野本 和宏さん

「シマフクロウ、イトウなどの生き物が暮らし、人々に恵みを持続的にもたらしてくれる湿原」の実現を目指し、多くの流域住民と協働で、長期間かけて壮大な目標を実現するために、魚道整備や河川環境改善の取り組みを進めています。活動の成果が実り、近年イトウ産卵床数が増えています。応援よろしくをお願いします。

ほくくー基金

応援2

ヒグマと人間が共生できる社会に！

## ヒグマの会

ヒグマの会は、ヒグマとそれを取り巻く自然環境や社会に関心を持つ市民、研究者、農業者や狩猟者などの幅広い層が集い、1979年に設立しました。ヒグマと人間が共生できる社会づくりを目指し、ヒグマの調査研究や生息地保全のほか、共生のための提言、ヒグマ対応策の教育などを行っています。

『ヒグマフォーラム』の開催など、市民に向けた様々な活動を実施



〈ヒグマフォーラム 2018 in 標茶〉

本フォーラムでは近年多発しているヒグマによる人身事故について意見を交わしました。



〈ヒグマフォーラム 2017 in 登別〉

本フォーラムでは電気柵の展示などを行い、参加者にその使用方法と効果について解説いただきました。

スタッフからの一言

ヒグマの会  
事務局長 佐藤 喜和さん

ヒグマの生息数は増加傾向にあり、これまで考えられなかったような都市部でも目撃されるようになってきました。奥山のヒグマは保全しながら人の生活圏には入り込まないように人間側が知恵を絞る必要があります。ヒグマの生態や行動を知り、適切な対策を行う人や地域が増えることを願い活動しています。ぜひ活動にご参加ください。

特集

お客さまとの  
共通価値の創造

環境保全

医療福祉

教育文化

ダイバーシティ

経営について



## 当行の環境負荷低減への取り組み

美しく豊かな北海道の自然。その財産を守り、次世代へ継承するのは我々の責務です。日々の業務の中、ほんの一枚、ほんの小さなことから少しずつ環境負荷低減の取り組みを積み重ねています。

### ほんの一枚も大事な資源

#### 古紙リサイクル



保管期間が経過した伝票や帳票類などは、厳重なセキュリティを装備した車輛で古紙リサイクル業者の工場に運ばれ、24時間監視システムを備えた施設で破碎処理されたあと、再生紙の原料としてリサイクルされています。

### 小さなことから変えています

#### 電気使用量の削減



全行的な照明の間引き点灯、照明器具のLED化、空調のこまめな停止・温度調整、OA機器等未使用時電源オフの励行等に取り組んでいます。

### ランク3に認定されています

#### 北海道グリーン・ビズ



北海道グリーン・ビズ認定制度は、環境に配慮した取り組みを自主的に行う事業所等を登録・認定する北海道の制度です。当行は、3段階の登録基準のうち、最上位のランク3に認定されています。

### 全社をあげて取り組みます

#### 省エネルギー



店舗ロビーや営業室の照明器具のLED化、石油系燃料を使用した冷暖房機から電気またはガスを使用するインバーター制御のヒートポンプエアコンへの更新、高圧受変電設備の高効率機器への更新や節電対応等の施策で省エネを推進しています。

### 小さなことから変えています

#### CO<sub>2</sub> 排出量



省電力機器への更新や日々の地道な節電対応などを通じてCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進しています。

## 職員の環境保全意識向上に向けた取り組み

職員全員が北海道の環境保全への意識を持つきっかけづくりとして、店周および近隣地域を対象とした「全行一斉ごみ拾い活動」を実施しています。各営業店において日々店周清掃は行っていますが、職員一丸で行う機会を設けることで、地域やお取引先への感謝の気持ちを表すとともに、個々人の環境保全への意識を高めるきっかけとなっています。



全行一斉ごみ拾い活動



2018年度 参加人数

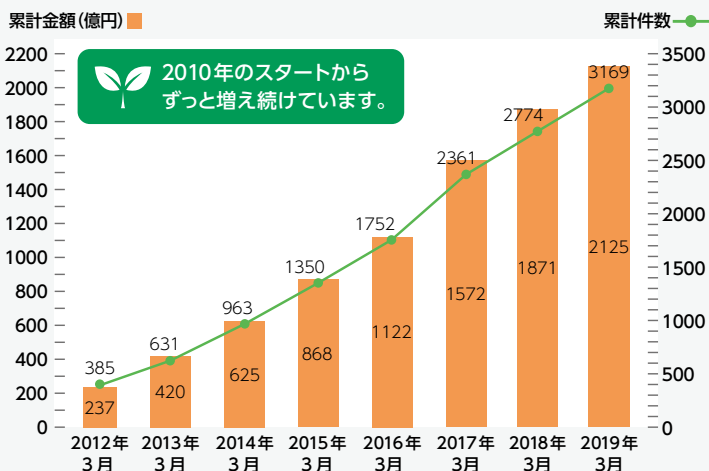
1,563名

# ビジネスを通じた取り組み

## 環境配慮型私募債 北洋エコボンド

環境に配慮した取り組みを自主的・積極的に行っている企業をサポートするため、一般的な私募債より金利優遇を行う私募債「北洋エコボンド」を発行し、多くの環境配慮型企業の皆さまにご利用いただいています。環境への取り組みは北海道、札幌市等の地方公共団体とも連携を強めていることから、主な対象企業を北海道グリーン・ビズ認定制度、さっぽろエコメンバー登録制度の登録企業としています。

### 北洋エコボンド取扱状況(2012年3月～2019年3月)



### 担当者からの一言



調査役 小林 龍弥

私募債とはお客さまが長期固定金利の資金調達を図るために発行し、それを限られた少数の投資家が引き受けるものです。従来の借入とは異なり、資本市場を通じた資金調達の第一歩となると共に、発行企業の財務内容健全性を対外的にPRできるメリットを有します。ソリューション部では、お客さまのお取引店と共に一丸となって私募債発行が円滑に進むようお手伝いしていきます。

## 環境成長分野を対象とした投融資ファンド

### 飛翔NEO(はばたきネオ)

北海道の成長産業である10分野に対して資金面でサポートを行うほくよう成長サポートファンド「飛翔NEO(はばたきネオ)」では、資金用途の一つである「環境エネルギー分野」において、北海道の地域資源を活用した事業を積極的に支援しています。

### 環境ビジネス支援ファンド

環境関連に特化した「環境ビジネス支援ファンド」は、環境関連のビジネスを行うお取引先の株式を当行が引き受けることで、お取引先企業がより発展し信用力が高まり、地域経済の活性化につながることを目指すファンドです。

名称	ほくよう成長サポートファンド「飛翔NEO(はばたきネオ)」
ファンド総額	800億円
貸出金額	1貸出あたり 5百万円以上10億円以内
貸出期間	1年以上15年以内
返済方法	元金均等返済または元利均等返済
資金用途	以下の10成長分野に資する資金(運転資金・設備資金) ①医療介護事業 ②農林水産 ③環境エネルギー ④事業承継・M&A ⑤事業再編 ⑥社会インフラ ⑦観光産業 ⑧青函連携 ⑨協会けんぽ連携 ⑩働き方改革

(2019年6月末現在)

## 個人向けローンの拡充

### リフォームローン エコリフォームローン金利割引

省エネ改修工事、太陽光発電工事等環境配慮型工事の普及を後押しし、CO<sub>2</sub>排出量削減に協力するため、これらの工事を行うお客さまのローン金利を通常のリフォームローン金利より優遇しています。

### ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス) 対応 住宅ローン

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)対応住宅ローンでは、省エネルギー・高性能な住宅を幅広く普及させ、低炭素社会の実現や効率的なエネルギー利用に貢献するとともに、お客さまの住宅がより優良な資産となることを後押ししていきます。